RSU リヤサスペンション

2WD

4WD

作業上の注意

PFP:00001

注意

JES00244

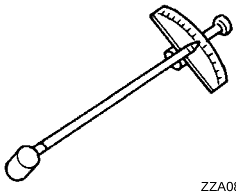
- ブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。またオイルの付着はラバーブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭きとること。
- 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
- サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検すること。
- カシメナットは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。また、新品時には油を塗布してあるが、その油が付いた状態で締め付けを行うこと。

準備品

PFP:00002

特殊工具

JES00245

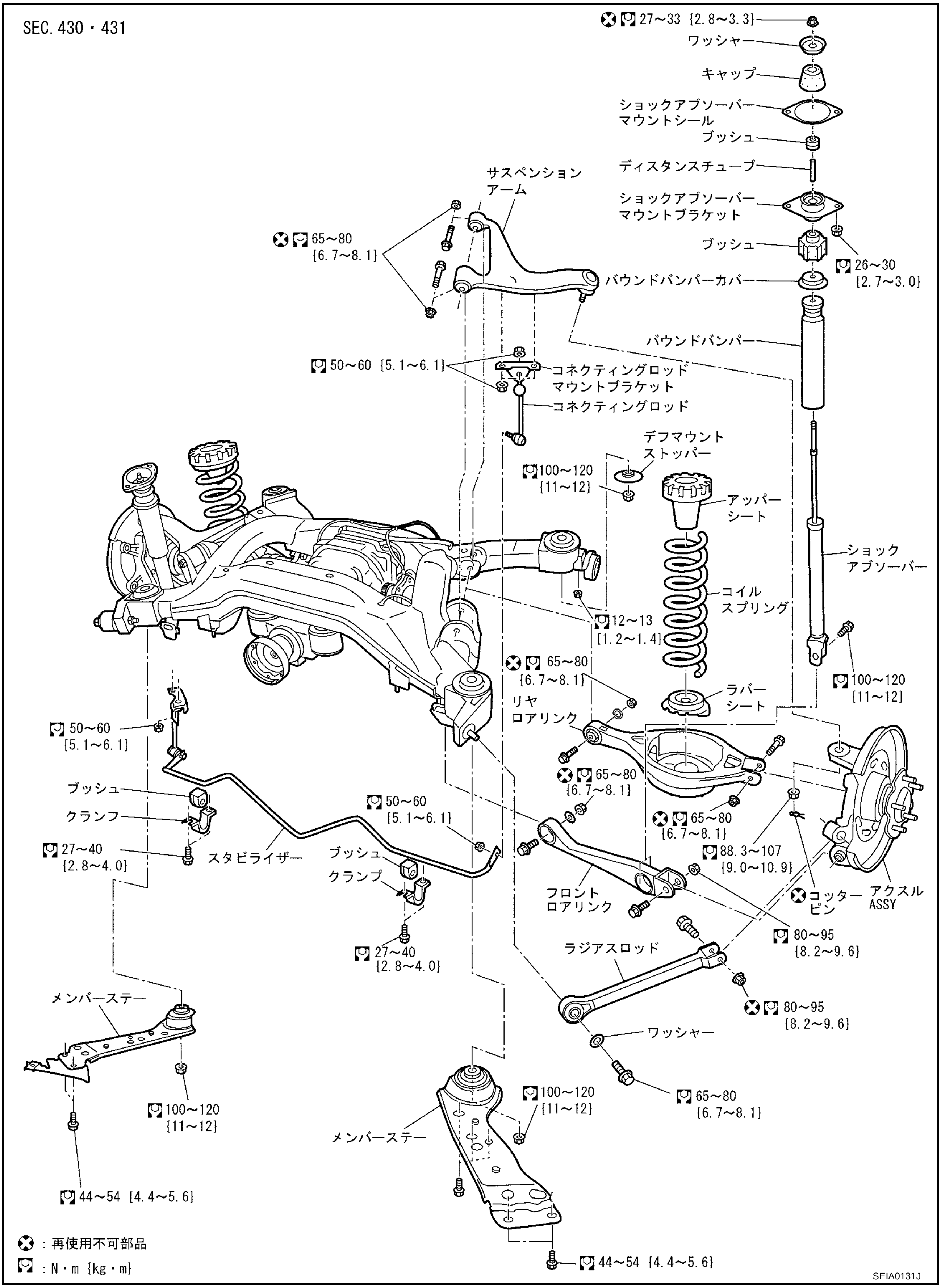
名称		用途
プリロードゲージ ST3127 S000	 ZZA0806D	**ボールジョイントしゅう動トルク測定**

リヤサスペンション ASSY

PFP:55020

構成図

JES00246



車載上の点検、整備

JES00247

アクスルやサスペンション部品に異常な遊び、摩耗や損傷がないかを点検する。

- リヤホイール（左右）を動かし、異常な遊びがないかを点検する。
- 全てのナットとボルトを規定トルクで再度締め付ける。
- ショックアブソーバーのオイル漏れや損傷を点検する。

ホイールアライメント

JES00248

概要

- ホイールアライメントは、空車状態で測定する。空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油は、規定量まで充てんした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておく。

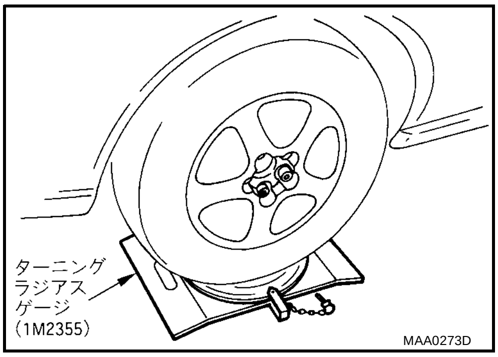
作業前点検

1. タイヤの空気圧及び摩耗を点検する。
2. ロードホイールの振れを点検する。
3. ホイールベアリングの軸方向エンドプレーを点検する。
4. ショックアブソーバーの作動状態を点検する。
5. アクスル及びサスペンション各取付部に緩み、変形がないか点検する。
6. 各リンク、アームに損傷、き裂、変形等がないか点検する。
7. 車両姿勢は正常か点検する。

キャンバー点検

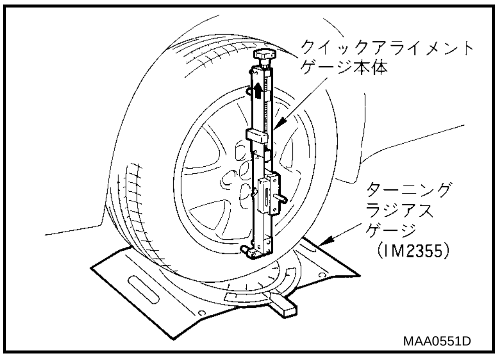
参考 : • リヤホイールアライメント点検はクイックアライメントゲージを用いれば正確に短時間で点検ができる。
• クイックアライメントゲージの詳しい取扱要領については、取扱説明書を参照すること。

1. ターニングラジアスゲージに後輪を乗せ、前輪はターニングラジアスゲージと同じ高さの台に載せて車両を水平にする。



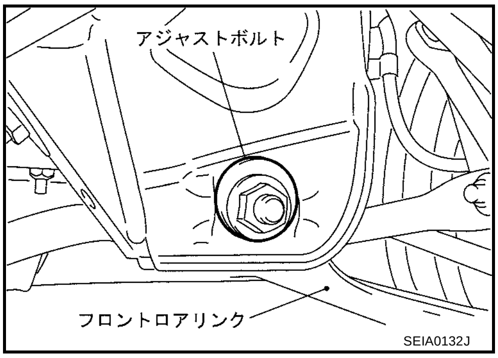
2. クイックアライメントゲージ本体を図の様に矢印ステッカーが上を向くように床面に対して垂直にセットして測定する。

キャンバー ：–0°10′±30′



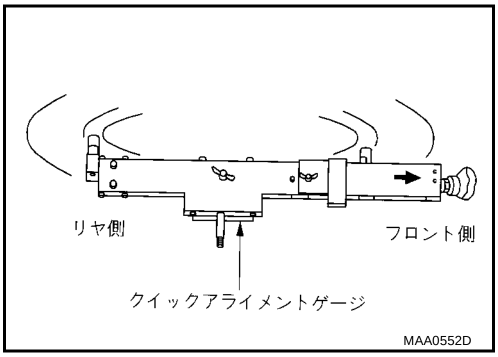
3. 測定値が基準値にない場合は、フロントロアリンクのアジャストボルトで調整する。

   注意： キャンバー調整後は、必ずトーイン点検を行うこと。



トーイン点検

1. クイックアライメントゲージ本体を定盤の上に置き、治具ブロックを使ってトー角測定用水準器を 0° に調整する。
2. 測定輪にクイックアライメントゲージ本体の矢印ステッカーが直進方向に向くようにセットする。
3. 測定部位の前輪ホイールナットの中で中心線に近いものを 1 個外し、ハブボルトアダプターをセットする。



4. 連結バーを車両にセットする。

   注意： 連結バーと車両が平行になるように、トレッドを考慮し、A,B の距離を調整すること。

5. クイックアライメントゲージ本体を車両から取り外し、定盤の上に置き測定をし、測定値を下記換算式において正規の値に変換する。

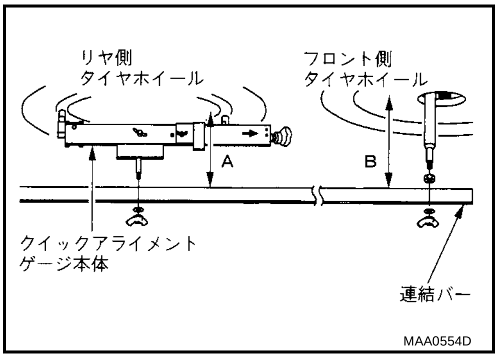
   Sin {測定値　注）(10 進法)} ×タイヤ外径 (mm) ＝トーイン (mm)

   注）ここでの測定値とは左右輪の測定値の和を示す。

   計算例

   測定値 0 ° 30 ′ （0.5 ° ）タイヤ外径 600mm の場合

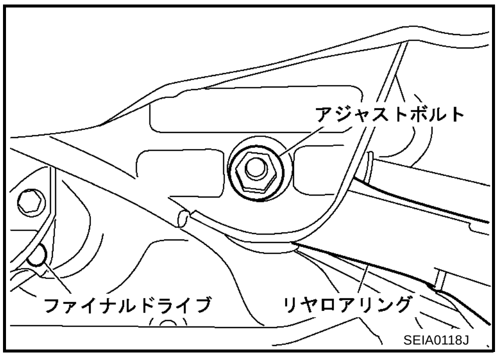
   Sin0.5 × 600 ＝ 5.2mm



トーイン　　　：イン 5.4 〜 0mm

6. 測定値が基準値を外れる場合は、リヤロアリンクのアジャストボルトで調整する。

   注意： アジャストボルトを調整する場合は、左右同量に行うこと。



取り外し、取り付け

JES00249

取り外し

1. ショックアブソーバー上側の取付ナットを取り外す。
2. タイヤ及びブレーキキャリパーを取り外す。ブレーキキャリパーは、じゃまにならない所に吊るしておく。
   注意： ブレーキキャリパーを外してる間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
3. パーキングブレーキケーブルをアクスルハウジング及びサスペンションメンバーより取り外す。「PB パーキングブレーキ」の「取り外し」(PB-3 ページ)を参照すること。
4. 車輪回転センサーをリヤファイナルドライブより取り外す。
5. メンバーステー取付ボルトを取り外す。
6. エキゾーストチューブ及びプロペラシャフトを取り外す。
7. リヤファイナルドライブのエアブリーザーホースを車両側から取り外す。
8. リヤファイナルドライブにミッションジャッキをセットする。
9. サスペンションメンバー取付ナットを外し、ミッションジャッキをゆっくり下げ、リヤサスペンション ASSY を車両より取り外す。
   注意： コイルスプリングに気を付けながらミッションジャッキを下げること。

取り付け

- 「構成図」(RSU-4 ページ)を参照し、取り外しの逆の手順で行う。
  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ)を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

ショックアブソーバー

PFP:56210

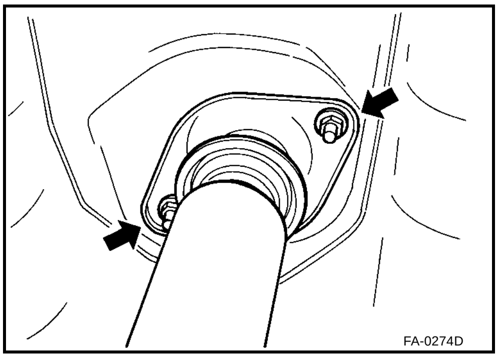
取り外し、取り付け

JES002EN

取り外し

1. アクスル ASSY にミッションジャッキをセットし、ショックアブソーバー下側取付ボルトを取り外す。
2. ミッションジャッキをアクスル ASSY より外す。
3. リヤシートバックリクライニングフィニッシャーを外し、スウィッシュ音キャップを取り外す。
4. ショックアブソーバー上側の取付ナットを取り外す。

   注意：ショックアブソーバー上部（車体側）にスウィッシュ音キャップが設定されています。ショックアブソーバー取り付け、取り外し作業時にはキャップの取り付け、取り外し作業も確実に行うこと。「リヤシート」(SE-18 ページ) を参照すること。



取り付け

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意：構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

分解、組み立て

JES002EO

分解

1. ショックアブソーバーマウントシールをショックアブソーバーブラケットより取り外す。
2. ショックアブソーバー下側にウエスを巻きショックアブソーバーを万力にセットする。

   注意：ショックアブソーバーの円筒部に万力をセットしないこと。
3. ピストンロッドロックナットを緩める。
4. ワッシャー、ブッシュ（アッパー）、ディスタンスチューブ、ショックアブソーバーマウントブラケット、ブッシュ（ロア）、バウンドバンパーカバー及びバウンドバンパーをショックアブソーバーより取り外す。

分解後の点検

ショックアブソーバー

- ピストンロッドに損傷、偏摩耗、曲がり等がないか点検し、異常がある場合はショックアブソーバーを交換する。

組み立て

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意：構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

サスペンションアーム

PFP:55501

取り外し

JES0024C

1. タイヤ及びブレーキキャリパーを外し、ブレーキキャリパーをじゃまにならない所に吊るしておく。
   注意： ブレーキキャリパーを外している間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
2. スタビライザーのコネクティングブラケットをサスペンションアームより取り外す。
3. サスペンションアームのサスペンションメンバー側取付ボルト及びナットを取り外す。
4. コッターピン及びロックナットを外し、タイロッドエンドリフター（汎用工具）を用いて、サスペンションアームをアクスルハウジングより取り外す。
   注意：
   - タイロッドエンドリフター（汎用工具）を使用するときは、ボールジョイントに損傷を与えないようにすること。
   - タイロッドエンドリフター（汎用工具）を使用するときは、ナットを面一まで仮締めし、ネジ部に損傷を与えないこと

点検

JES0024D

- サスペンションアーム及び ブッシュに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はサスペンションアームを交換する。
- ボールジョイントのブーツにき裂、損傷、グリースの漏れ等がないか点検する。

ボールジョイント

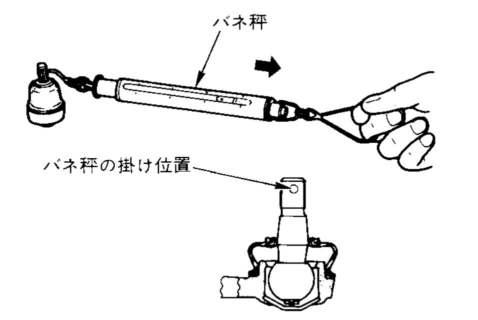
注意： 測定前に 10 回以上手で動かし、ボールジョイントをなじませてから行う。

よう動トルク

- バネ秤をコッターピン取付穴に掛け、ボールスタッドが動き始めたときのバネ秤の測定値が基準値内にあるか点検する。

よう動トルク　：0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg·m}
バネ秤の測定値　：8.06 〜 54.8N {0.83 〜 5.58kg}

- 基準値を外れる場合は、サスペンションアームを交換する。



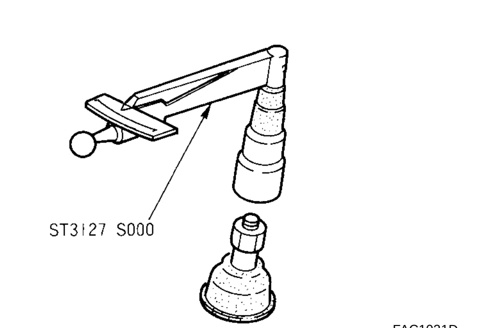
FAC1020D

しゅう 動トルク

- 取付ボルトをボールスタッドの取り付け、プリロードゲージ（特殊工具）を用いて、しゅう動トルクが基準値内にあるか測定する。

しゅう動トルク　：0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg}

- 基準値を外れる場合は、サスペンションアームを交換する。



FAC1021D

軸方向エンドプレー

- ボールジョイントの先端を軸方向に押し、ガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー　：0mm

- ガタがある場合は、サスペンションアームを交換する。

取り付け

JES0024E

- **「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。**

  注意：構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- **各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。**
- **作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。**

ラジアスロッド

PFP:55110

取り外し

JES002EP

- タイヤ及び取付ボルト、ナットを外し、ラジアスロッドを車両より取り外す。

点検

JES002EQ

- ラジアスロッドに変形、き裂、損傷がないか点検し、異常がある場合はラジアスロッドを交換する。

取り付け

JES002ER

- 「構成図」(RSU-4 ページ)を参照し、取り外しの逆の要領で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ)を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

フロントロアリンク

PFP:55110

取り外し

JES002ES

1. タイヤを外し、ミッションジャッキをリヤロアリンクにセットする。
2. 取付ボルト及びナットを外し、フロントロアリンクを車両より取り外す。

点検

JES002ET

- フロントロアリンクに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はフロントロアリンクを交換する。

取り付け

JES002EU

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

リヤロアリンク及びコイルスプリング

PFP:551B0

取り外し

JES002EV

1. タイヤを外し、ミッションジャッキをリヤロアリンクにセットする。
2. リヤロアリンクのサスペンションメンバー側取付ボルト、ナットを緩め、アクスルハウジング側取付ボルト、ナットを取り外す。
3. ミッションジャッキをゆっくり下げ、アッパーラバーシート、コイルスプリング及びラバーシートをリヤロアリンクより取り外す。

   注意： スプリングは上下を判別できるよう識別ペイントをしておくこと。
4. サスペンションメンバー側取付ボルト、ナットを外し、リヤロアリンクを車両より取り外す。

点検

JES002EW

- リヤロアリンク及びコイルスプリングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はリヤロアリンク及びコイルスプリングを交換する。

取り付け

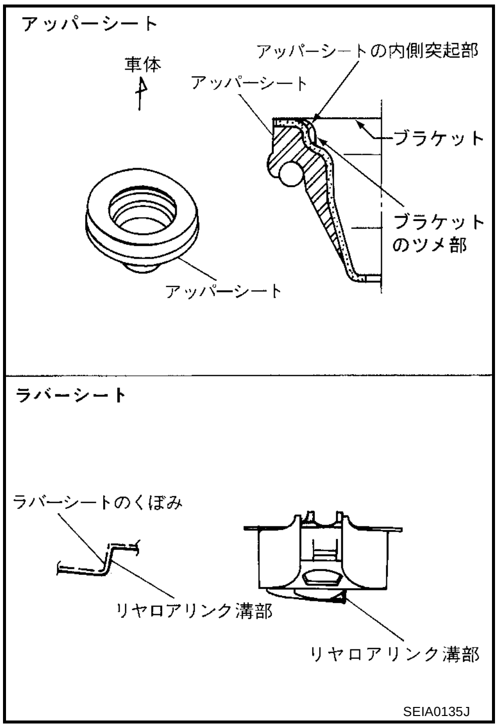
JES002EX

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- アッパーシートが図のように取り付けられていることを確認する。

  注意： アッパーシートは図のように車体側ブラケットのツメ（3ヶ所）とアッパーシートの内側突起部をあらかじめ確実にはめておくこと。
- ラバーシートのくぼみとリヤロアリンクの溝部を位置合わせして取り付けを行うこと。

  注意： スプリングの上下に注意すること。上下は識別ペイントにより判断すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。



スタビライザー

PFP:56230

取り外し

JES002EY

1. エキゾーストチューブのダイナミックダンパーを取り外す。
2. コネクティングロッドをスタビライザーより取り外す。
3. クランプ取付ボルトを外し、クランプ及びブッシュをスタビライザーより取り外す。
4. スタビライザーを車両後方より取り外す。

点検

JES002EZ

- スタビライザーに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はスタビライザーを交換する。

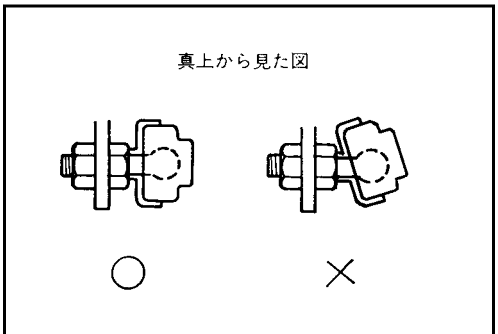
取り付け

JES002F0

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

- スタビライザーは、ピロボール式コネクティングロッドを使用しているため、ボールジョイントの位置決めはスタビライザーに対してピロボール頭部のケースが平行になるように取り付けること。
- ブッシュ及びクランプをスタビライザーに取り付ける際は、横ずれ防止クランプの車両内側にブッシュ及びクランプを位置決めすること。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。



FAC0186D

サービスデータ

PFP:00030

ホイールアライメント

JES0024R

キャンバー	–0°10′±30′
トーイン	**イン** 5.4 〜 0mm

ボールジョイント

JES0024S

取付位置	**サスペンションアーム**
よう動トルク	0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg·m}
バネ秤の測定値（コッターピン穴位置）	8.06 〜 54.8N {0.83 〜 5.50kg}
しゅう動トルク	0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg·m}
軸方向エンドプレー	0mm

締付トルク

JES0024T

単位：N·m {kg·m}

<table>
<tr><td>ピストンロッドロックナット</td><td>27 〜 33 {2.8 〜 3.3}</td></tr>
<tr><td>ショックアブソーバー〜ボディー</td><td>26 〜 30 {2.7 〜 3.0}</td></tr>
<tr><td>サスペンションメンバー〜ボディー</td><td rowspan="2">100 〜 120 {11 〜 12}</td></tr>
<tr><td>ラジアスロッド〜サスペンションメンバー</td></tr>
<tr><td>サスペンションアーム〜サスペンションメンバー</td><td rowspan="3">65 〜 80 {6.7 〜 8.1}</td></tr>
<tr><td>フロントロアリンク〜サスペンションメンバー</td></tr>
<tr><td>リヤロアリンク〜サスペンションメンバー</td></tr>
<tr><td>ラジアスロッド〜アクスルハウジング</td><td>80 〜 95 {8.2 〜 9.6}</td></tr>
<tr><td>フロントロアリンク〜アクスルハウジング</td><td>80 〜 95 {8.2 〜 9.6}</td></tr>
<tr><td>リヤロアリンク〜アクスルハウジング</td><td>65 〜 80 {6.7 〜 8.1}</td></tr>
<tr><td>サスペンションアーム〜アクスルハウジング</td><td>84.5 {8.6}</td></tr>
<tr><td>ショックアブソーバー〜アクスルハウジング</td><td>100 〜 120 {11 〜 12}</td></tr>
<tr><td>スタビライザー〜スタビライザーコネクティングロッド</td><td rowspan="2">50 〜 60 {5.1 〜 6.1}</td></tr>
<tr><td>スタビライザー〜コネクティングロッド〜スタビライザーロッドマウントブラケット</td></tr>
<tr><td>スタビライザークランプ取付ナット</td><td>27 〜 40 {2.8 〜 4.1}</td></tr>
</table>

作業上の注意

PFP:00001

注意

JES0024U

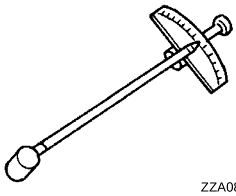
- ブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。またオイルの付着はラバーブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭きとること。
- 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
- サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検すること。
- カシメナットは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。また、新品時には油を塗布してあるが、その油が付いた状態で締め付けを行うこと。

準備品

PFP:00002

特殊工具

JES0024V

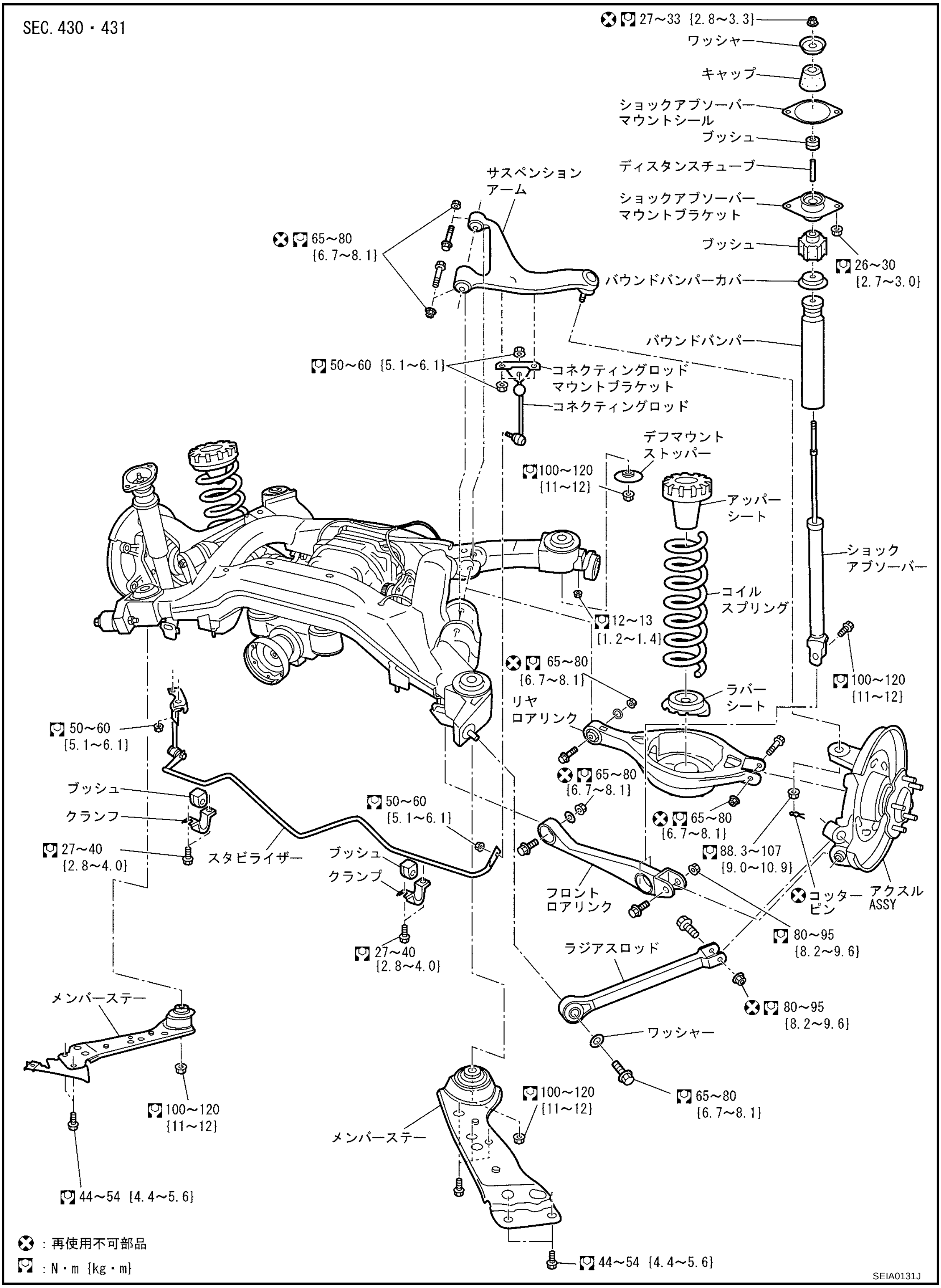
名称		用途
プリロードゲージ ST3127 S000	 ZZA0806D	ボールジョイントしゅう動トルク測定

リヤサスペンション ASSY

PFP:55020

構成図

JES0024W



車載上の点検、整備

JES0024X

アクスルやサスペンション部品に異常な遊び、摩耗や損傷がないかを点検する。

- リヤホイール（左右）を動かし、異常な遊びがないかを点検する。
- 全てのナットとボルトを規定トルクで再度締め付ける。
- ショックアブソーバーのオイル漏れや損傷を点検する。

ホイールアライメント

JES0024Y

概要

- ホイールアライメントは、空車状態で測定する。空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油は、規定量まで充てんした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。

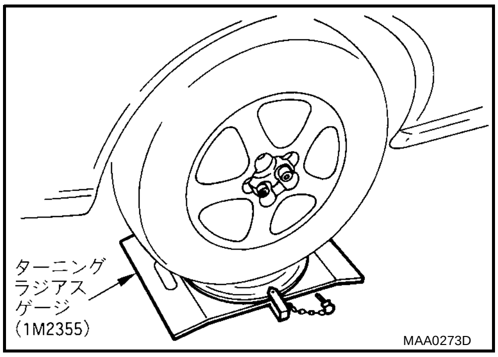
作業前点検

1. タイヤの空気圧及び摩耗を点検する。
2. ロードホイールの振れを点検する。
3. ホイールベアリングの軸方向エンドプレーを点検する。
4. ショックアブソーバーの作動状態を点検する。
5. アクスル及びサスペンション各取付部に緩み、変形がないか点検する。
6. 各リンク、アームに損傷、き裂、変形等がないか点検する。
7. 車両姿勢は正常か点検する。

キャンバー点検

参考 :
- リヤホイールアライメント点検はクイックアライメントゲージを用いれば正確に短時間で点検ができる。
- クイックアライメントゲージの詳しい取扱要領については、取扱説明書を参照すること。

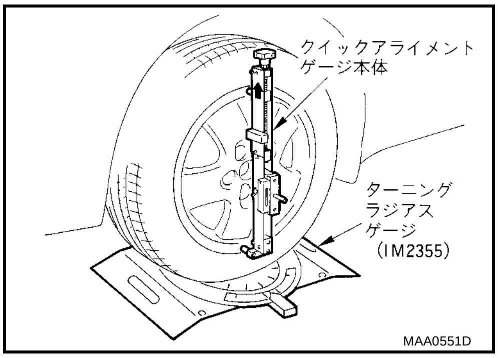
1. ターニングラジアスゲージに後輪を乗せ、前輪はターニングラジアスゲージと同じ高さの台に載せて車両を水平にする。



2. クイックアライメントゲージ本体を図の様に矢印ステッカーが上を向くように床面に対して垂直にセットして測定する。

キャンバー	：–0°30′±30′（注 1）
	：–0°10′±30′（注 2）

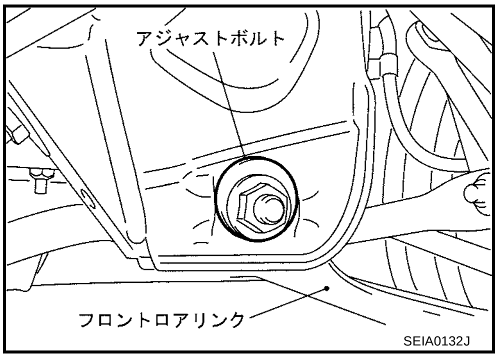
注 1：205/65 R16 95S タイヤ装着車、215/55R17 93V タイヤ装着車
注 2：225/55R18 97H タイヤ装着車



A B C D RSU F G H I J K L

3. 測定値が基準値にない場合は、フロントロアリンクのアジャストボルトで調整する。

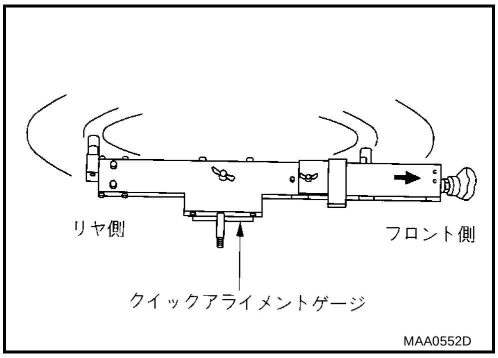
   注意： キャンバー調整後は、必ずトーイン点検を行うこと。



SEIA0132J

トーイン点検

1. クイックアライメントゲージ本体を定盤の上に置き、治具ブロックを使ってトー角測定用水準器を 0° に調整する。
2. 測定輪にクイックアライメントゲージ本体の矢印ステッカーが直進方向に向くようにセットする。
3. 測定部位の前輪ホイールナットの中で中心線に近いものを 1 個外し、ハブボルトアダプターをセットする。



MAA0552D

4. 連結バーを車両にセットする。

   注意： 連結バーと車両が平行になるように、トレッドを考慮し、A,B の距離を調整すること。

5. クイックアライメントゲージ本体を車両から取り外し、定盤の上に置き測定をし、測定値を下記換算式において正規の値に変換する。

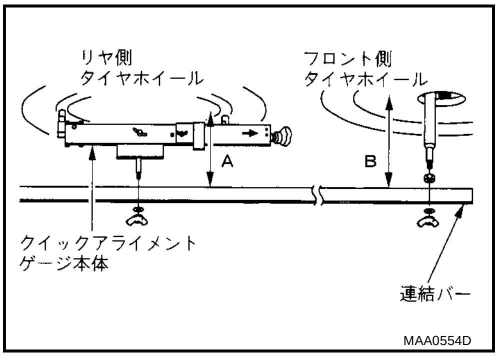
   Sin {測定値　注）(10 進法)} ×タイヤ外径 (mm) ＝トーイン (mm)

   注）ここでの測定値とは左右輪の測定値の和を示す。

   計算例

   測定値 0 ° 30 ′（0.5 ° ）タイヤ外径 600mm の場合

   Sin0.5 × 600 ＝ 5.2mm

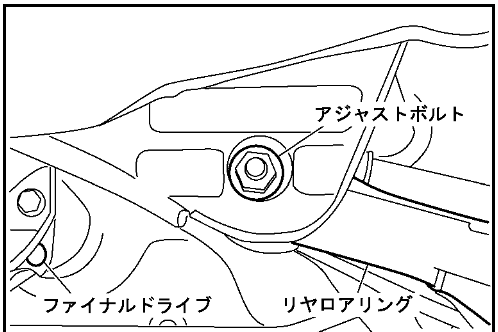


MAA0554D

トーイン　　　：イン 5.4 ～ 0mm

6. 測定値が基準値を外れる場合は、リヤロアリンクのアジャストボルトで調整する。

   注意： アジャストボルトを調整する場合は、左右同量に行うこと。



SEIA0118J

取り外し、取り付け

JES0024Z

取り外し

1. ショックアブソーバー上側の取付ナットを取り外す。
2. タイヤ及びブレーキキャリパーを取り外す。ブレーキキャリパーは、じゃまにならない所に吊るしておく。
   注意： ブレーキキャリパーを外してる間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
3. パーキングブレーキケーブルをアクスルハウジング及びサスペンションメンバーより取り外す。「PB パーキングブレーキ」の「取り外し」(PB-3 ページ)を参照すること。
4. 車輪回転センサーをリヤファイナルドライブより取り外す。
5. メンバーステー取付ボルトを取り外す。
6. エキゾーストチューブ及びプロペラシャフトを取り外す。
7. リヤファイナルドライブのエアブリーザーホースを車両側から取り外す。
8. リヤファイナルドライブにミッションジャッキをセットする。
9. サスペンションメンバー取付ナットを外し、ミッションジャッキをゆっくり下げ、リヤサスペンション ASSY を車両より取り外す。
   注意： コイルスプリングに気を付けながらミッションジャッキを下げること。
10. メンバーストッパー（上側）を取り外す。

取り付け

- 「構成図」(RSU-18 ページ)を参照し、取り外しの逆の手順で行う。
  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-18 ページ)を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

ショックアブソーバー

PFP:56210

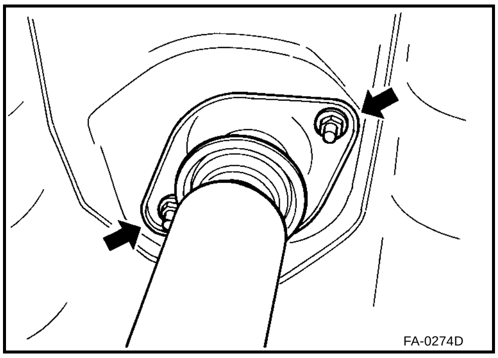
取り外し、取り付け

JES002F1

取り外し

1. アクスル ASSY にミッションジャッキをセットし、ショックアブソーバー下側取付ボルトを取り外す。
2. ミッションジャッキをアクスル ASSY より外す。
3. リヤシートバックリクライニングフィニッシャーを外し、スウィッシュ音キャップを取り外す。
4. ショックアブソーバー上側の取付ナットを取り外す。

   注意：ショックアブソーバー上部（車体側）にスウィッシュ音キャップが設定されています。ショックアブソーバー取り付け、取り外し作業時にはキャップの取り付け、取り外し作業も確実に行うこと。「リヤシート」(SE-18 ページ) を参照すること。



取り付け

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意：構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

分解、組み立て

JES002F2

分解

1. ショックアブソーバーマウントシールをショックアブソーバーブラケットより取り外す。
2. ショックアブソーバー下側にウエスを巻きショックアブソーバーを万力にセットする。

   注意：ショックアブソーバーの円筒部に万力をセットしないこと。
3. ピストンロッドロックナットを緩める。
4. ワッシャー、ブッシュ（アッパー）、ディスタンスチューブ、ショックアブソーバーマウントブラケット、ブッシュ（ロア）、バウンドバンパーカバー及びバウンドバンパーをショックアブソーバーより取り外す。

分解後の点検

ショックアブソーバー

- ピストンロッドに損傷、偏摩耗、曲がり等がないか点検し、異常がある場合はショックアブソーバーを交換する。

組み立て

- 「構成図」(RSU-18 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意：構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-18 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

サスペンションアーム

PFP:55501

取り外し

JES00252

1. タイヤ及びブレーキキャリパーを外し、ブレーキキャリパーをじゃまにならない所に吊るしておく。
   注意：ブレーキキャリパーを外している間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
2. スタビライザーのコネクティングブラケットをサスペンションアームより取り外す。
3. サスペンションアームのサスペンションメンバー側取付ボルト及びナットを取り外す。
4. コッターピン及びロックナットを外し、タイロッドエンドリフター（汎用工具）を用いて、サスペンションアームをアクスルハウジングより取り外す。
   注意：
   - タイロッドエンドリフター（汎用工具）を使用するときは、ボールジョイントに損傷を与えないようにすること。
   - タイロッドエンドリフター（汎用工具）を使用するときは、ナットを面一まで仮締めし、ネジ部に損傷を与えないこと

点検

JES00253

- サスペンションアーム及び ブッシュに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はサスペンションアームを交換する。
- ボールジョイントのブーツにき裂、損傷、グリースの漏れ等がないか点検する。

ボールジョイント

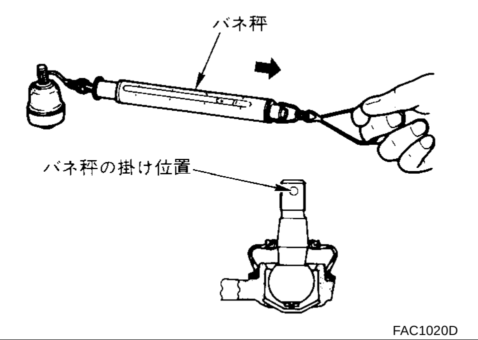
注意：測定前に 10 回以上手で動かし、ボールジョイントをなじませてから行う。

よう動トルク

- バネ秤をコッターピン取付穴に掛け、ボールスタッドが動き始めたときのバネ秤の測定値が基準値内にあるか点検する。

よう動トルク	:0.50 ～ 3.40N·m {0.06 ～ 0.34kg·m}
バネ秤の測定値	:8.06 ～ 54.8N {0.83 ～ 5.58kg}

- 基準値を外れる場合は、サスペンションアームを交換する。



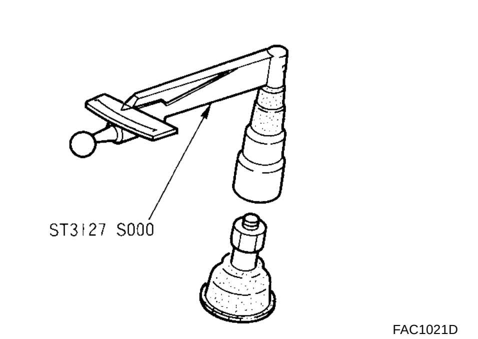
FAC1020D

しゅう 動トルク

- 取付ボルトをボールスタッドの取り付け、プリロードゲージ（特殊工具）を用いて、しゅう動トルクが基準値内にあるか測定する。

しゅう動トルク	：0.50 ～ 3.40N·m {0.06 ～ 0.34kg}

- 基準値を外れる場合は、サスペンションアームを交換する。



FAC1021D

軸方向エンドプレー

- ボールジョイントの先端を軸方向に押し、ガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー	：0mm

- ガタがある場合は、サスペンションアームを交換する。

取り付け

JES00254

- 「構成図」(RSU-18 ページ)を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意: 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-18 ページ)を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

ラジアスロッド
PFP:55110

取り外し
JES002F3

- タイヤ及び取付ボルト、ナットを外し、ラジアスロッドを車両より取り外す。

点検
JES002F4

- ラジアスロッドに変形、き裂、損傷がないか点検し、異常がある場合はラジアスロッドを交換する。

取り付け
JES002F5

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の要領で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

フロントロアリンク

PFP:55110

取り外し

JES002F6

1. タイヤを外し、ミッションジャッキをリヤロアリンクにセットする。
2. 取付ボルト及びナットを外し、フロントロアリンクを車両より取り外す。

点検

JES002F7

- フロントロアリンクに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はフロントロアリンクを交換する。

取り付け

JES002F8

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

リヤロアリンク及びコイルスプリング

PFP:551B0

取り外し

JES002F9

1. タイヤを外し、ミッションジャッキをリヤロアリンクにセットする。
2. リヤロアリンクのサスペンションメンバー側取付ボルト、ナットを緩め、アクスルハウジング側取付ボルト、ナットを取り外す。
3. ミッションジャッキをゆっくり下げ、アッパーラバーシート、コイルスプリング及びラバーシートをリヤロアリンクより取り外す。

   注意： スプリングは上下を判別できるよう識別ペイントをしておくこと。
4. サスペンションメンバー側取付ボルト、ナットを外し、リヤロアリンクを車両より取り外す。

点検

JES002FA

- リヤロアリンク及びコイルスプリングに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はリヤロアリンク及びコイルスプリングを交換する。

取り付け

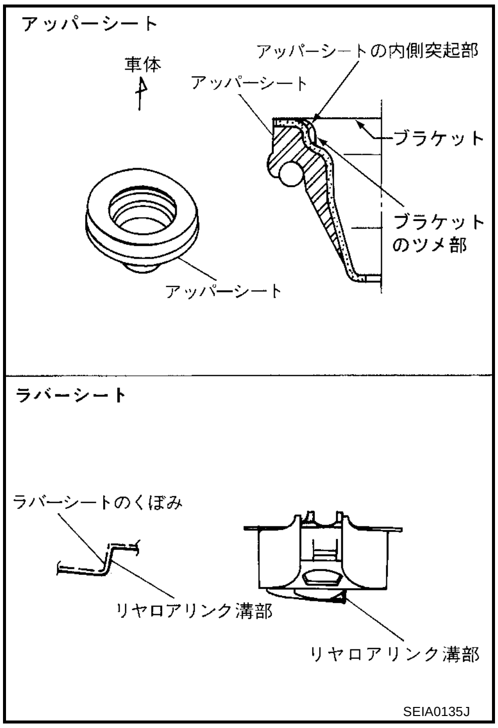
JES002FB

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- アッパーシートが図のように取り付けられていることを確認する。

  注意： アッパーシートは図のように車体側ブラケットのツメ（3ヶ所）とアッパーシートの内側突起部をあらかじめ確実にはめておくこと。
- ラバーシートのくぼみとリヤロアリンクの溝部を位置合わせして取り付けを行うこと。

  注意： スプリングの上下に注意すること。上下は識別ペイントにより判断すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。



スタビライザー

PFP:56230

取り外し

JES002FC

1. コネクティングロッドをスタビライザーより取り外す。
2. クランプ取付ボルトを外し、クランプ及びブッシュをスタビライザーより取り外す。
3. スタビライザーを車両より取り外す。

点検

JES002FD

- スタビライザーに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はスタビライザーを交換する。

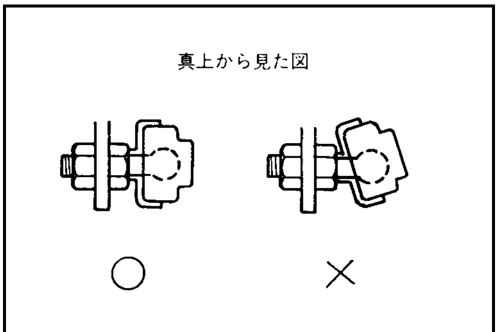
取り付け

JES002FE

- 「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

  注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

- スタビライザーは、ピロボール式コネクティングロッドを使用しているため、ボールジョイントの位置決めはスタビライザーに対してピロボール頭部のケースが平行になるように取り付けること。
- ブッシュ及びクランプをスタビライザーに取り付ける際は、横ずれ防止クランプの車両内側にブッシュ及びクランプを位置決めすること。
- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照すること。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。



FAC0186D

サービスデータ

PFP:00030

ホイールアライメント

JES0025H

タイヤサイズ	205/65R16 95S タイヤ装着車 215/55R17 93V タイヤ装着車	225/55R18 97H タイヤ装着車
キャンバー	−0°30′±30′	−0°10′±30′
トーイン	イン 5.4 〜 0mm	

ボールジョイント

JES0025I

取付位置	サスペンションアーム
よう動トルク	0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg·m}
バネ秤の測定値（コッターピン穴位置）	8.06 〜 54.8N {0.83 〜 5.50kg}
しゅう動トルク	0.50 〜 3.40N·m {0.06 〜 0.34kg·m}
軸方向エンドプレー	0mm

締付トルク

JES0025J

単位：N·m {kg·m}

ピストンロッドロックナット	27 〜 33 {2.8 〜 3.3}
ショックアブソーバー〜ボディー	26 〜 30 {2.7 〜 3.0}
サスペンションメンバー〜ボディー	100 〜 120 {11 〜 12}
ラジアスロッド〜サスペンションメンバー	
サスペンションアーム〜サスペンションメンバー	65 〜 80 {6.7 〜 8.1}
フロントロアリンク〜サスペンションメンバー	
リヤロアリンク〜サスペンションメンバー	
ラジアスロッド〜アクスルハウジング	80 〜 95 {8.2 〜 9.6}
フロントロアリンク〜アクスルハウジング	80 〜 95 {8.2 〜 9.6}
リヤロアリンク〜アクスルハウジング	65 〜 80 {6.7 〜 8.1}
サスペンションアーム〜アクスルハウジング	84.5 {8.6}
ショックアブソーバー〜アクスルハウジング	100 〜 120 {11 〜 12}
スタビライザー〜スタビライザーコネクティングロッド	50 〜 60 {5.1 〜 6.1}
スタビライザー〜コネクティングロッド〜スタビライザーロッドマウントブラケット	
スタビライザークランプ取付ナット	27 〜 40 {2.8 〜 4.1}